

第240回漫友会「明治大学博物館・阿久悠記念館と野球殿堂博物館見学」

実施日	令和6年3月12日（火）
集合場所	地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅出口
参加者	中嶋繁（野田市）、山下晃生（牛久市）、上田進（柏市）、大島耕而（千葉市）、小森孝敏（龍ヶ崎市）、五島周太郎（鎌ヶ谷市）、吉野博（水戸市）、野尻正（八千代市）、新保知博（守谷市）、平川清治（松戸市）、森本敬次（柏市）、小石川功（筑西市）、鎌田廣（千葉市）、三瓶健治（柏市）、大久保敏雄（鎌ヶ谷市／幹事） （合計15名）
行程	茗荷谷駅⇒お茶の水駅⇒明治大学博物館・阿久悠記念館⇒お茶の水駅 ⇒水道橋駅⇒野球殿堂博物館⇒水道橋駅前居酒屋道らく（懇親会）
内容	当初は小石川植物園の散策を計画していたが、悪天候のため断念。 4月からの朝ドラのモデルとなった三淵嘉子さんの出身校である、明治大学の博物館と隣接する阿久悠記念館を見学。 その後、昨年度一番の話題となったWBCの優勝トロフィーも展示されている野球殿堂博物館を見学。
報告	◎明治大学博物館 ボランティアの説明員の、考古学史上の最大級の発見である岩宿遺跡発掘の熱い話に感銘を受けた。その他発掘出土品が多数展示されている。刑事部門では戦国時代から江戸時代の法令文書や高札、拷問・刑罰道具等のコレクションが「権利の自由」と言う明治大学の建学の精神が窺えた。 ◎阿久悠記念館 5,000曲にも及ぶ作詞や数多くの小説作品・エッセイに彼の感性の豊かさや才能に触れ、圧倒される思いであった。 ◎野球殿堂博物館 日本の野球の歴史がアマチュアからプロまで、分かり易く展示・説明されている。野球殿堂コーナーでは殿堂入りした方々の肖像レリーフが置かれており、1949年から2024年まで多士済々の顔ぶれに改めて興味津々でした。プロ野球では、それぞれ応援するチームの違いはあるが、全員一致で関心が高かったのは昨年のWBCの優勝コーナーでした。